⑾　提出された申請書等は、原則として返却しない。
⑿　手続における交渉の有無　無
⒀　契約書作成の要否　要
⒁　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を、当該工事の請負契約の相手方と随意契約により締結する予定の有無　無
⒂　関連情報を入手するための照会窓口・手続に関する問い合わせ先は、記４⑴に同じ。
⒃　競争参加資格の認定を受けていない者の参加　記２⑵に掲げる競争参加資格の認定を受けていない者も記４⑶により申請書等を提出することができるが、入札に参加するためには、競争参加資格確認結果通知の日までに、当該資格の認定を受けていなければならない。
⒄　詳細は入札説明書による。
⒅　地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更　本工事は「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事積算基準の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終設計変更時点で設計変更する試行工事である。
営繕費　労働者の送迎費、宿泊費、借上費(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)
労務管理費　募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤に要する費用
⒆　協議相手の選定方法　全ての入札参加者の入札価格が契約制限価格を上回った場合は、以下の算出方法により総合評価点数を算出し、総合評価点の最も高い者を確認協議の相手方に選定する。
①　総合評価点　（技術評価点×α）＋（価格評価点×0.5）　αの値は「0.5」とする。
②　技術評価点　各評価項目における項目別配点の合計点（満点100点）
③　価格評価点　100－200（Ｐ／Ｌ－１）（Ｌ＜Ｐ）
ここに、
Ｐ　入札書に記載の価格（入札価格）
Ｌ　契約制限価格

6　Summary
⑴　Official in charge of the contract of the procuring entity : Osamu Kubota, Director, General of Kanazawa Branch, Central Nippon Expressway Company Limited
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Exchange work of Hokuriku Expressway from Imajo to Takefu floor slab (Part 1)
⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 4 : 00 P.M. March 12, 2020
⑸　Time-limit for the submission of tenders : 4 : 00 P.M. March 12, 2020
⑹　Opening of tenders : 9 : 30 A.M. May 21, 2020
⑺　The language used for application and inquiry shall be Japanese
⑻　Contact point for the notice : Accounting／Contract Section, Kanazawa Branch, Central Nippon Expressway Company Limited, 170, Higashi, Kamino-machi, Kanazawa-shi, Ishikawa-ken, 920―0365 Japan, TEL 076―240―4935

入札公告（建設工事）の訂正

令和２年１月27日
東日本高速道路株式会社　関東支社
支社長　良峰　　透

◎調達機関番号　417　◎所在地番号　11
１　掲載日　令和２年１月８日（号外政府調達第３号・114～115ページ）
２　訂正内容
工事名
Ⅰ　首都圏中央連絡自動車道　下万田高架橋（鋼上部工）工事
Ⅱ　首都圏中央連絡自動車道　横町高架橋（鋼上部工）工事
３　入札手続等⑵①交付期間　「令和２年１月８日（水）から令和２年１月23日（木）まで。（Ⅰ、Ⅱとも同じ）」を「令和２年１月８日(水)から令和２年２月10日（月）まで。(Ⅰ、Ⅱとも同じ)」に、⑶①提出期間　「令和２年１月８日（水)から令和２年１月23日(木)16時まで。(Ⅰ、Ⅱとも同じ)」を「令和２年１月９日（木）から令和２年２月10日（月）16時まで。(Ⅰ、Ⅱとも同じ)」に、⑷①入札書の提出⑴提出期限　「令和２年３月27日（金）16時（Ⅰ、Ⅱとも同じ)」を「令和２年４月９日（木）16時（Ⅰ、Ⅱとも同じ)」に、②開札日時　「Ⅰ　令和２年３月30日（月）10時00分、Ⅱ　令和２年３月30日(月)13時30分」を「Ⅰ　令和２年４月10日（金）10時00分、Ⅱ　令和２年４月10日（金)13時30分」に、５　Summary⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system　:　「4 : 00 P.M. 23 January 2020」を「4 : 00 P.M. 10 February 2020」に、⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system　:「4 : 00 P.M. 27 March 2020」を「4 : 00 P.M. 9 April 2020」に訂正する。

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
令和２年１月27日
契約担当職
国立研究開発法人産業技術総合研究所
臨海副都心センター
研究業務推進部長　五十嵐光教

◎調達機関番号　808　◎所在地番号　13
○産総第136号
１　調達内容
⑴　品目分類番号　14
⑵　導入計画物品及び数量　ＡＩ橋渡しグリーンクラウド基盤　１式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入目的　ＡＩ橋渡しクラウド（以下、ＡＢＣＩという）は、国立研究開発法人　産業技術総合研究所（以下、産総研という）が2018年８月より柏センターＡＩデータセンター棟において運用を開始したクラウド型計算システムである。１年あまりの運用を経て、ＡＩスタートアップから総合電機メーカーまで利用の裾野が拡大し、世界に伍するＡＩ研究が可能になるとともに、我が国のＡＩ研究全体を支える重要基盤となった。その一方、高需要のため平均待ち時間が長く、円滑・タイムリーな利用に支障をきたしつつある。産総研は、我が国における産学官共同によるＡＩ研究開発を加速するオープンイノベーションプラットフォームとして、ＡＩ橋渡しグリーンクラウド（以下、ＡＢＣＩ++という）を導入する。ＡＢＣＩ++は、ＡＩデータセンター棟設備、クラウド運用技術、省エネ技術、ソフトウェア、データ、学習済みモデルデータ、産学官利用を含む広範なユーザーベースなど、従来のＡＢＣＩの有形無形の資産を生かしてＡＢＣＩと一体として機能し、ＡＢＣＩとの合算で性能および容量の倍増を実現する。これにより、増加し続ける需要に応えるとともに、高い計算能力を活用したＡＩ技術の研究開発・実証・社会実装、ＡＩ分野の最重要課題への挑戦を強力に推進する。
⑸　導入予定時期　令和２年度第４・四半期
⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件　ＡＢＣＩ++はＡＢＣＩの基本的な構成を踏襲し、高性能計算システム、大容量ストレージシステム、各種ネットワーク等からなるハードウェア群と、システムを最大限活用するためのソフトウェア群から構成される。ＡＢＣＩ++の基本的な要求要件の概要を示す。
①　高性能計算システムの合算ピーク性能は、300ペタＡＩ－ＦＬＯＰＳ以上であること。
②　高性能計算システムの整数演算の合算ピーク演算性能は、100ペタOPS以上であること。ただし、整数型は８ビット以上とする。
③　高性能計算システムの倍精度浮動小数点数演算の合算理論ピーク性能は20ペタFLOPS以上であること。
④　高性能計算システムのメモリの合算容量は220TiB以上、かつ合算理論ピークバンド幅は2.2PB／s以上であること。
⑤　大容量ストレージシステムは、全体で18PB以上の実効容量を備え、高速かつ高信頼な並列ファイルシステムを提供すること。高性能計算システムのすべての計算ノードから利用可能にすること。